

各育成会の現状や課題

- 山あげ祭りの子供神輿は継続できるように行っている。
- 現在4世帯の子どものみ。今後の加入は1名しかいない。存続が厳しい。
- 世帯数が減少し、活動に支障が出ているが、継続した活動をしている。
- 役員のなり手が見つからないのが悩み。
- イベントを行っても参加数は減る一方で毎回固定参加者がいるのみ。参加率に波がありすぎる。
保護者の手伝い等も疎遠され役員の負担が増える。
- 今年度は4世帯子ども4名。4月総会で年間行事を決め、子どもたちが伸び伸び活動できるよう保護者も尽力している。来年度は3世帯子ども3名となるため活動休止も考えている。
- 中学生になると部活で行事等に参加できなくなり、休会する家庭もあり減少傾向にある。
- 現在6世帯9名の小学生。年度内に2回遊びに行く活動を計画している。
- 子供数、世帯数が少なくなっている。数年後は休会を検討する現状。
- 7月夏休み期間ラジオ体操や秋頃にBBQか果物狩り等を企画準備中。
- 子どもの減少 あと数年で消滅の危機。
- 子どもの数が少なく存続させていくのが難しい。
- 現在中学生3名・小学生6名。異なる学年の子ども同士が関わり合う中で、上級生が下級生をサポートしながら活動している。地域自治会と連携した活動を通して、子ども同士の交流だけでなく、地域の大人とのつながりも深まった。安全面に十分配慮しながら、子どもたちの自主性と社会性が育つよう、引続き活動していく。
- 近年の酷暑のため、夏季に行っていた活動内容を見直している。会員は一定数いるが、役員の選出が難しい。就労している会員が多いので負担が大きいと感じる。
- 現在会員は4世帯となり、共働き世帯せあることから、これまでと同様の活動を維持することが難しい状況。今後は休止もしくは閉会について検討している。
- 子どもの減少により、大きな集まりはない。イベント時、子どもたちにプレゼントの配布、夏休みのラジオ体操等の集まりを現状維持している。